



青森農研フラッシュ

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

研究成果

台湾輸出に対応したりんご中・晩生種の 病害虫防除体系の組み立て方

りんご研究所

日本とは異なる農薬の残留基準値を設定している台湾に輸出する際の、りんご病害虫防除体系の組み立て方を紹介します。

背景

- 台湾は青森りんごの最大の輸出先ですが、平成20年産では台湾で残留基準値が未設定の農薬が検出され、陸揚げできない事態が生じました。
- 台湾では、残留基準値が設定されていない農薬は検出されないことが求められています。
- 台湾では、基準値が未設定の農薬や基準値が日本より厳しい農薬が多いです。

◆設定が必要ない◆

ポリオキシシAL
クレフロン、アプロン
ファイブスター
バイオマックス
マシン油乳剤

◆日本より厳しい◆

インダー、ブローダ、スコアMZ、アスパイア、スペックス、ジマンダイセン、プラウ、アントラコール、ユニックスZ、チオノック・トレノックス、アリエッティC、フリント、ストロビー、ナリア、ユニックス顆粒、エルサン、ロムダン、アタブロン、サムコル、ウララ、バリアード、モスピラン、バイスロイド、テルスター、ロディー、サンマイト、バロック、ダニサラバ、マイトコーネ

◆日本より緩い◆

ベフラン、オンリーワン
アンビル、ダイパワー
オーソサイド、ダイアジノン
スタークル・アルバリン

◆未設定◆

ストライド、サイアノックス
スプラサイド、スターマイト

(注) 剤型は防除暦参照、
マシン油乳剤：スプレーオイル、
ラビサンスプレー、ハーベストオイル、
トモノールS、アタックオイル

台湾における農薬残留基準値の設定状況
(平成25年3月1日現在)

台湾輸出に対応した防除体系の組み立て方

- ① 台湾で残留基準値の設定されていないものは使用しない。
- ② 「青森県りんご病害虫防除暦」採用農薬の中から、台湾で残留基準値の設定が不要な農薬、台湾の残留基準値が日本よりも緩いもの、台湾と日本の残留基準値が同じものから優先的に取り入れる。
- ③ 台湾の残留基準値が日本よりも厳しいものは、使用時期を早めるか、使用回数を少なくする。

以上に配慮することで、病害虫を防除でき、しかも台湾の基準値をクリアすることが可能となります。



台湾の店頭に並ぶ青森産りんご

組み立てる際の注意事項

台湾の基準値は暫時、設定されるので輸出する場合には台湾行政院衛生署のホームページ (<http://www.doh.gov.tw/cht2006/>) から、最新の発布修正「残留農薬安全容許量標準」を確認しましょう。

お問い合わせ

りんご研究所・病虫部まで(Tel.0172-52-2331)

